【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和6年7月26日(2024.7.26)

【国際公開番号】WO2023/100986
【出願番号】特願2023-565090(P2023-565090)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ 20/26(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/62(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/82(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/96(2006.01)
Ｃ０１Ｂ 32/50(2017.01)
Ｃ０８Ｇ 73/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ 20/26 ＡＺＡＢ
Ｂ０１Ｄ 53/62
Ｂ０１Ｄ 53/82
Ｂ０１Ｄ 53/96
Ｃ０１Ｂ 32/50
Ｃ０８Ｇ 73/04

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月10日(2024.5.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
含有されるアミノ基の総量に対して第２級アミノ基が３６．５ｍｏｌ％以上含まれるポリアルキレンイミン又はポリアルキレンイミン誘導体、を含有する二酸化炭素の吸着剤。
【請求項２】
前記ポリアルキレンイミン又はポリアルキレンイミン誘導体が、含有されるアミノ基の総量に対して第１級アミノ基を１７．５ｍｏｌ％以下含有する、請求項１に記載の二酸化炭素の吸着剤。
【請求項３】
ポリアルキレンイミンのアミノ基にアルキレンオキシドが付加されたものであるポリアルキレンイミン誘導体を含有する、請求項１又は２に記載の二酸化炭素の吸着剤。
【請求項４】
前記アルキレンオキシドの炭素数が２～１０である、請求項３に記載の二酸化炭素の吸着剤。
【請求項５】
含有されるアミノ基の総量に対して前記アルキレンオキシドが付加したアミノ基が２０．０～６０．０ｍｏｌ％である、請求項３に記載の二酸化炭素の吸着剤。
【請求項６】
前記ポリアルキレンイミンが、炭素数が２～５のアルキレン基とアミノ基からなる構造単位の繰り返しを含むものである、請求項３に記載の二酸化炭素の吸着剤。
【請求項７】
前記ポリアルキレンイミン又はポリアルキレンイミン誘導体が分岐構造を形成している

、請求項１又は２に記載の二酸化炭素の吸着剤。
【請求項８】
吸着した二酸化炭素を脱離させるために用いられる、請求項１又は２に記載の二酸化炭素の吸着剤。
【請求項９】
請求項８に記載の二酸化炭素の吸着剤を用いて二酸化炭素を吸収し、当該吸収した二酸化炭素を脱離する、二酸化炭素を回収する方法。
【請求項１０】
請求項８に記載の二酸化炭素の吸着剤を用いて二酸化炭素濃度が１．０～１００％（体積比）である排ガス中から二酸化炭素を吸収し、当該吸収した二酸化炭素を二酸化炭素濃度が０．０～１．０％（体積比）である気体中に脱離する、二酸化炭素を回収する方法。